

台湾春季短期研修報告書

人文社会学部人文学科 中国文化論教室二年 長谷川めい

☆志望動機

私は海外に行くことで社交性を身に着けたいと考え三週間の台湾研修に応募しました。大学生の春休みは長く、この期間をどう過ごすかで大学生生活の充実度も変わってくると思います。私は本学の夏季集中講義でグループワークの授業を受講した際に社交性と積極性が刺激された経験を通して、春季は日本を出て多くの文化や人々に積極的に触れたいと思うようになりました。また、第二外国語で選択した中国語の勉強が楽しく、少しでも実践的な学びができたらの思いもありました。

☆中国語学習

本研修は中国語未履修でも参加が可能です。台湾に到着した翌日に研修先の台湾師範大学でクラス編成テストがあり、簡単な口頭試問を行います。私は一番初級のクラスで学びました。クラスは 7 人程度の少人数で、台湾出身の先生は簡単な英語とジェスチャーで授業を進めました。英語は中学生レベルなので、英語に苦手意識がある私も授業の内容を理解できました。授業は平日の午前中、50 分×3 を休憩をはさみながら行ったので集中力が切れることはありませんでした。

☆課外活動

湾の名所で文化・歴史を学ぶプログラムと校内で台湾人と台湾の文化に触れるプログラムがそれぞれ十数種類あり、研修の最初に数個を選んで中国語の授業後、午後に体験します。名所めぐりでは私は三峡や九份に行きました。大学生のティーチングアシスタントやスタッフの方々がコースを大まかに決めてくださり、随所で解説してくれます。文化プログラムではお茶の体験が印象に残っています。台湾人の講師をお招きして二時間ほど日本とは違う茶道の流れやお茶の風味を楽しむことができました。また、太極拳では基本の型をみんなで習得し、発表しあいました。「聞いたことはあるけど、触れたことはない」といった文化に出会えるチャンスです。



☆自由時間

課外活動を選択していない日の午後や土日は基本自由行動です。私はとにかく台湾を歩き回りたいかったので友達を誘って郊外の観光名所に行ったり一人で近場の繁華街に出かけて写真を撮ったりしました。また、本学から台湾研修に参加した仲間と丸一日新幹線で長旅もしました。事前にガイドブックなどで見かけた名所やグルメを堪能できました。台湾師範大学の近所には永康街というおしゃれな街があり、課外活動後でも気軽に散策できます。時々路地に現れる猫たちがかわいらしいです。



☆研修を終えて

私はこの研修で、たくさんの日本人研修生や地元の台湾人店員の方々と触れ合うことができました。一方で、思ったよりも中国語を使って台湾人と話すことはできませんでした。中国語の語彙が三週間ではなかなか上達しないということが身に沁みました。しかし、台湾での生活は日本に帰ってきた今でも鮮明に覚えています。この台湾研修は経験と語学力向上への意欲をくれました。また台湾に行ける日が来るまで、今度は中国語で会話がはずむように中国語の学習にいつそう取り組んでいきます。また、初めての海外で、世界をさらに知りたいという気持ちも芽生えました。台湾以外の国々のことも、これから少しずつ知っていけたらと思います。